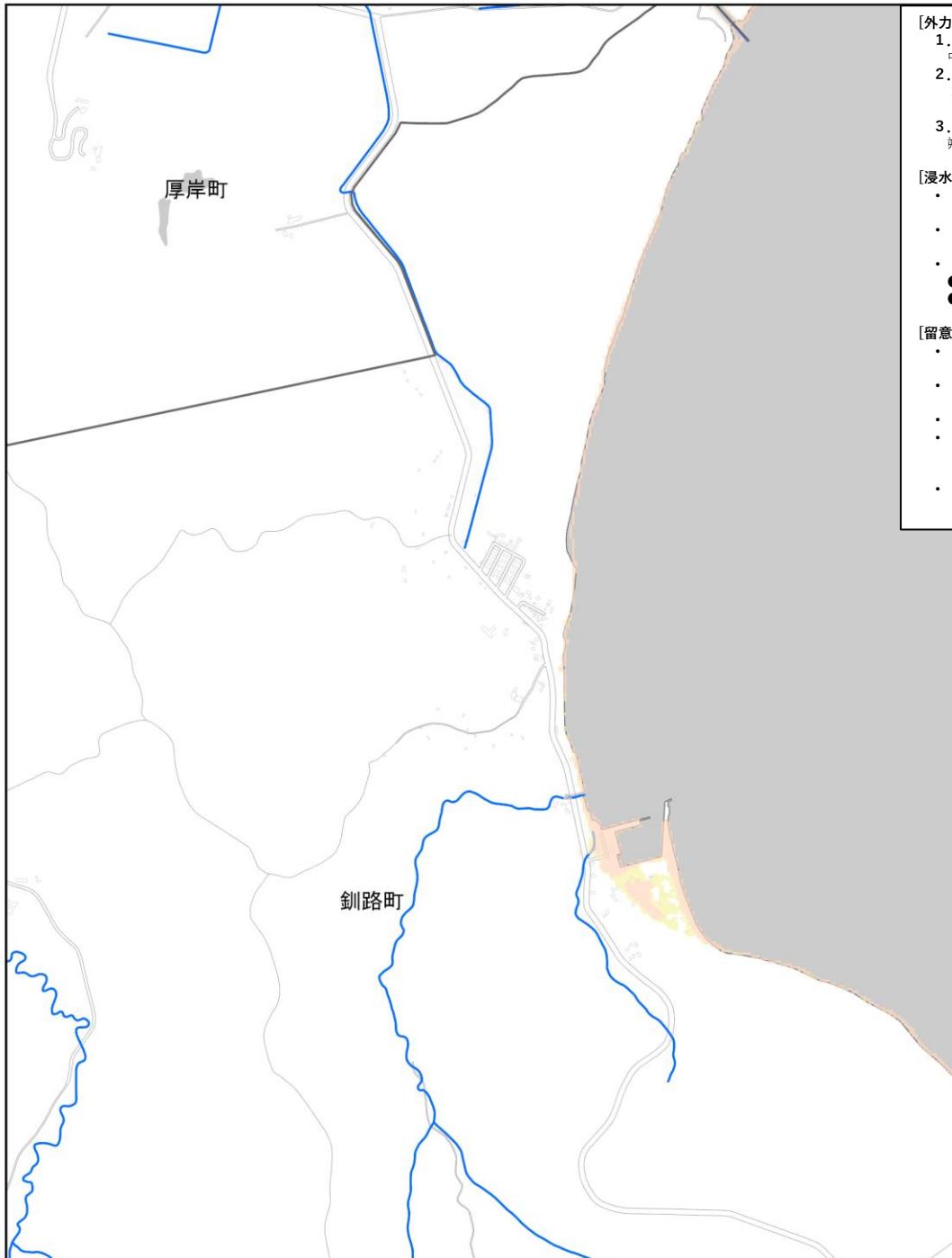


# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【釧路町 1/6】



## 【外力条件】

1. 想定台風  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
2. 想定低気圧  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2006年10月の低気圧を基本に西方向に20km平行移動
3. 潮位条件  
朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

## 【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

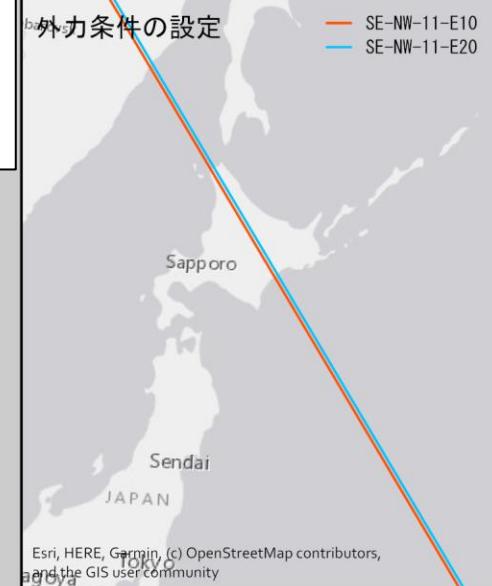
- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
- 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
- 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

## 【留意事項】

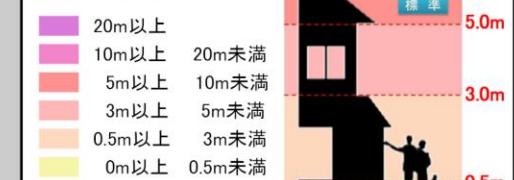
- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



## 外力条件の設定



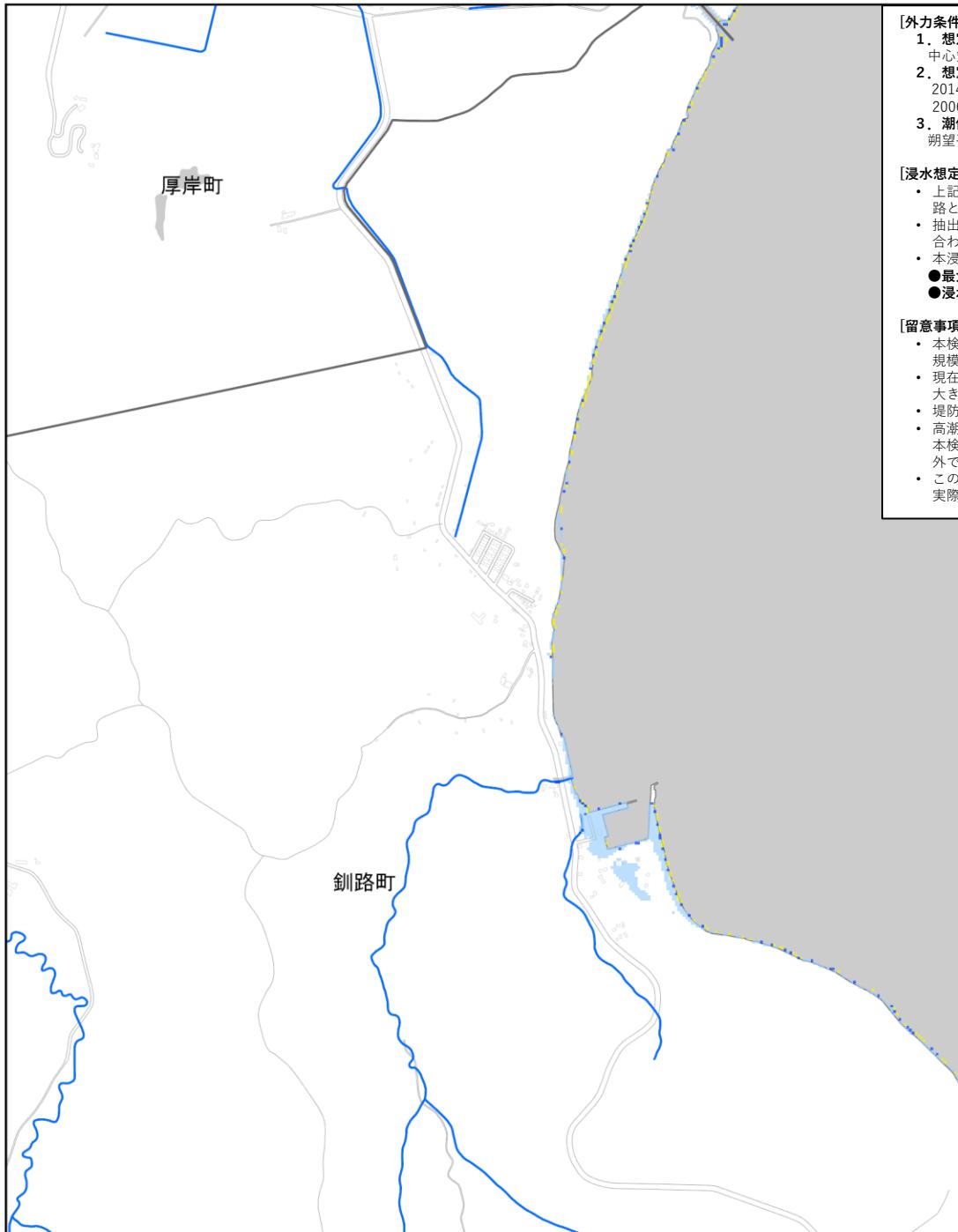
## (凡例) 最大浸水深



縮尺 1:25,000

0 250 500 1,000 m N E S

# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【釧路町 1/ 6】



## 【外力条件】

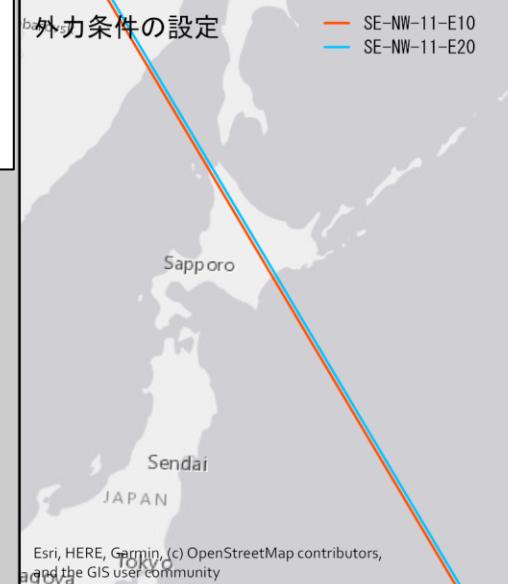
1. 想定台風  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
2. 想定低気圧  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2006年10月の低気圧を基本に西方向に20km平行移動
3. 潮位条件  
朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

## 【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
- 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
- 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

## 【留意事項】

- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



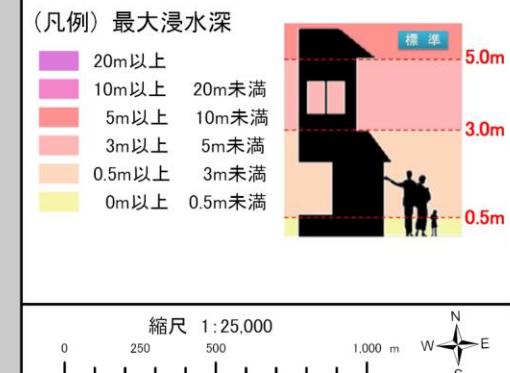
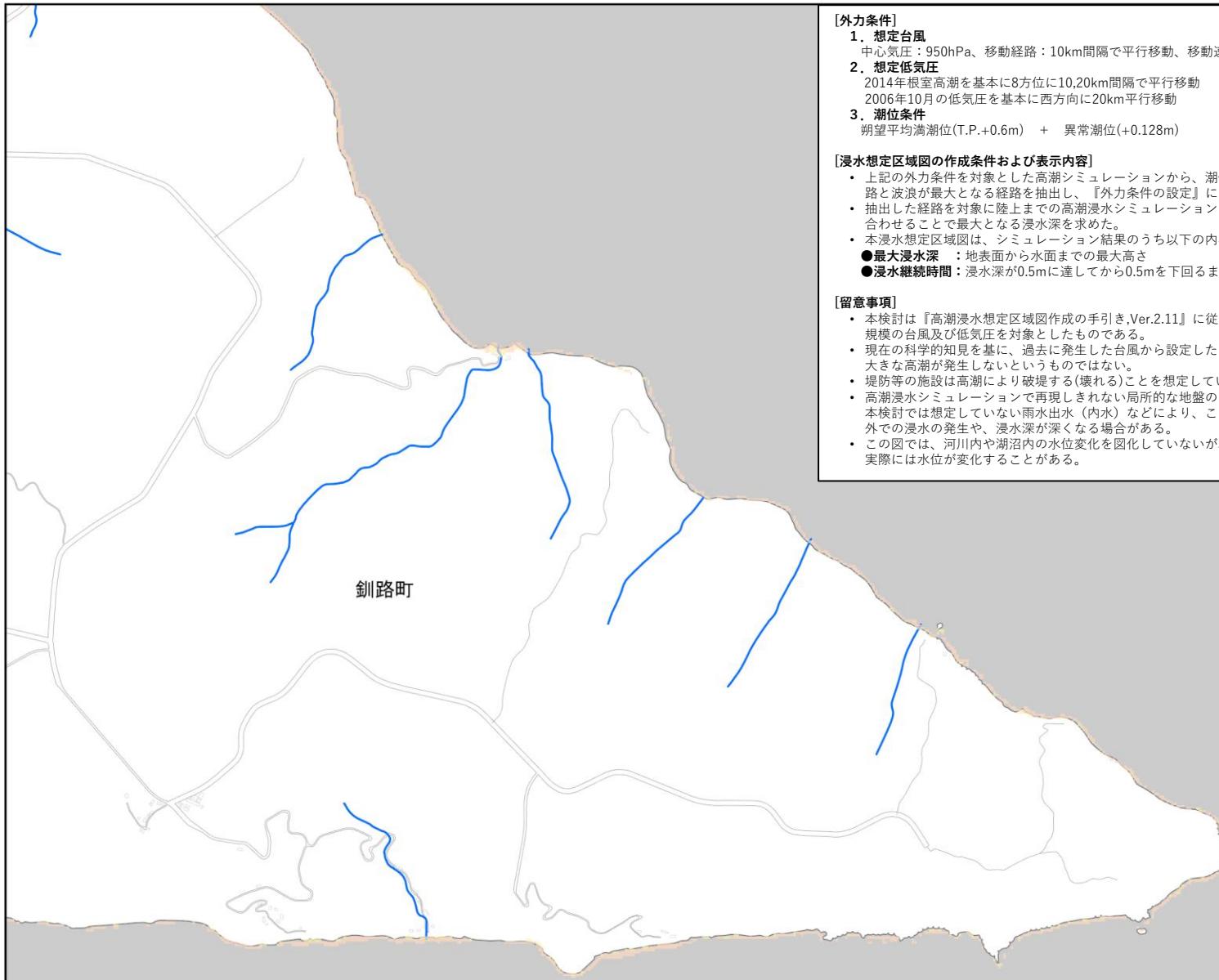
## （凡例）浸水継続時間

0時間以上	12時間未満
12時間以上	24時間未満
1日以上	3日未満
3日以上	7日未満
7日以上	14日未満
14日以上	28日未満
28日以上	

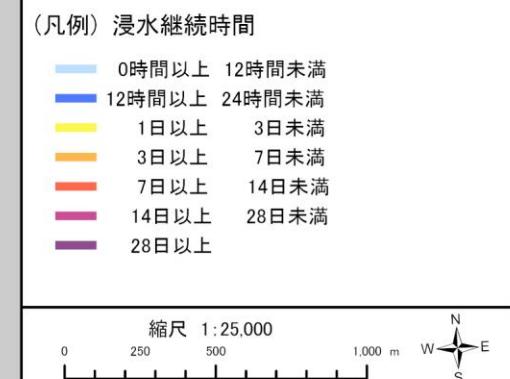
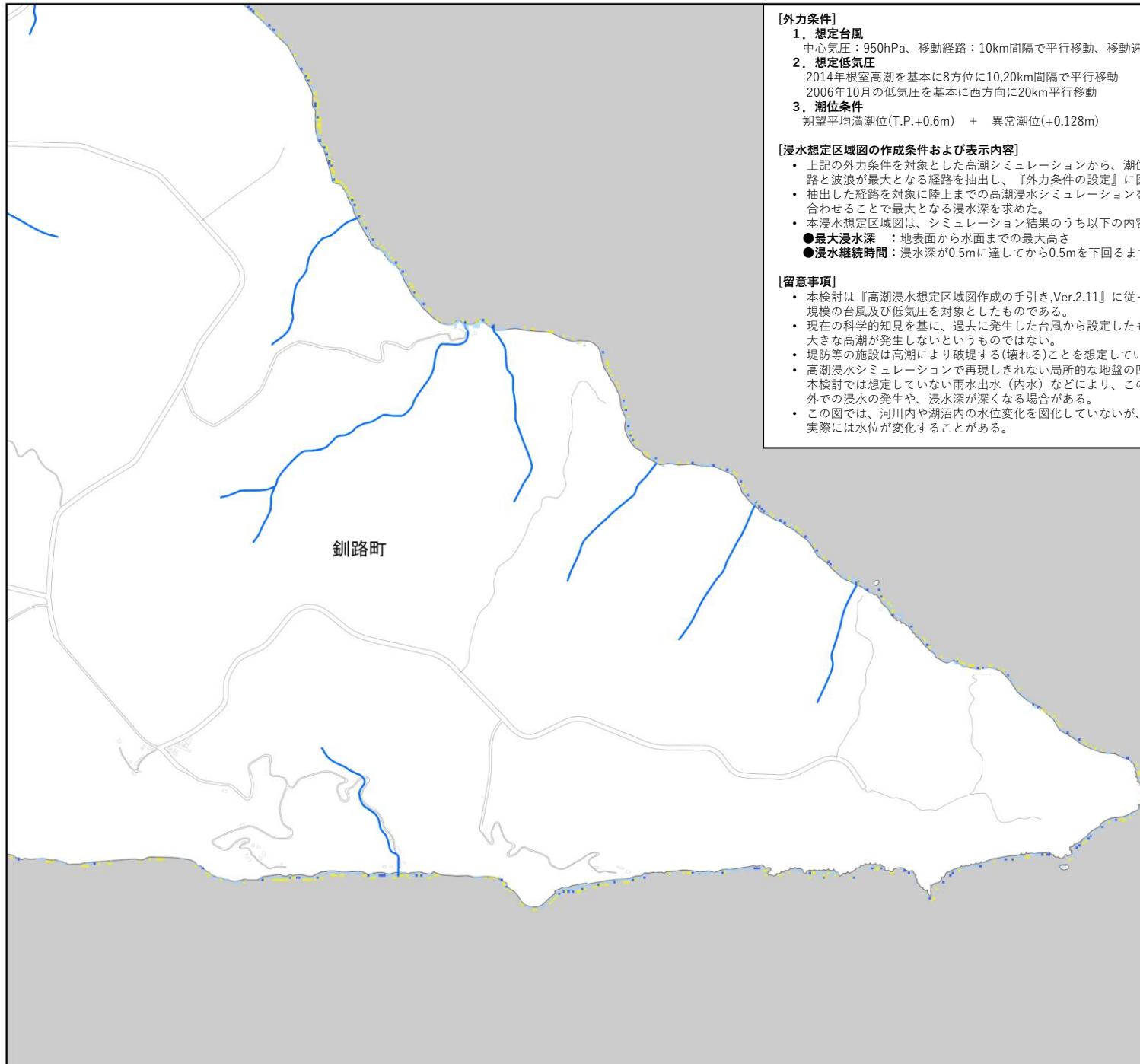
縮尺 1:25,000



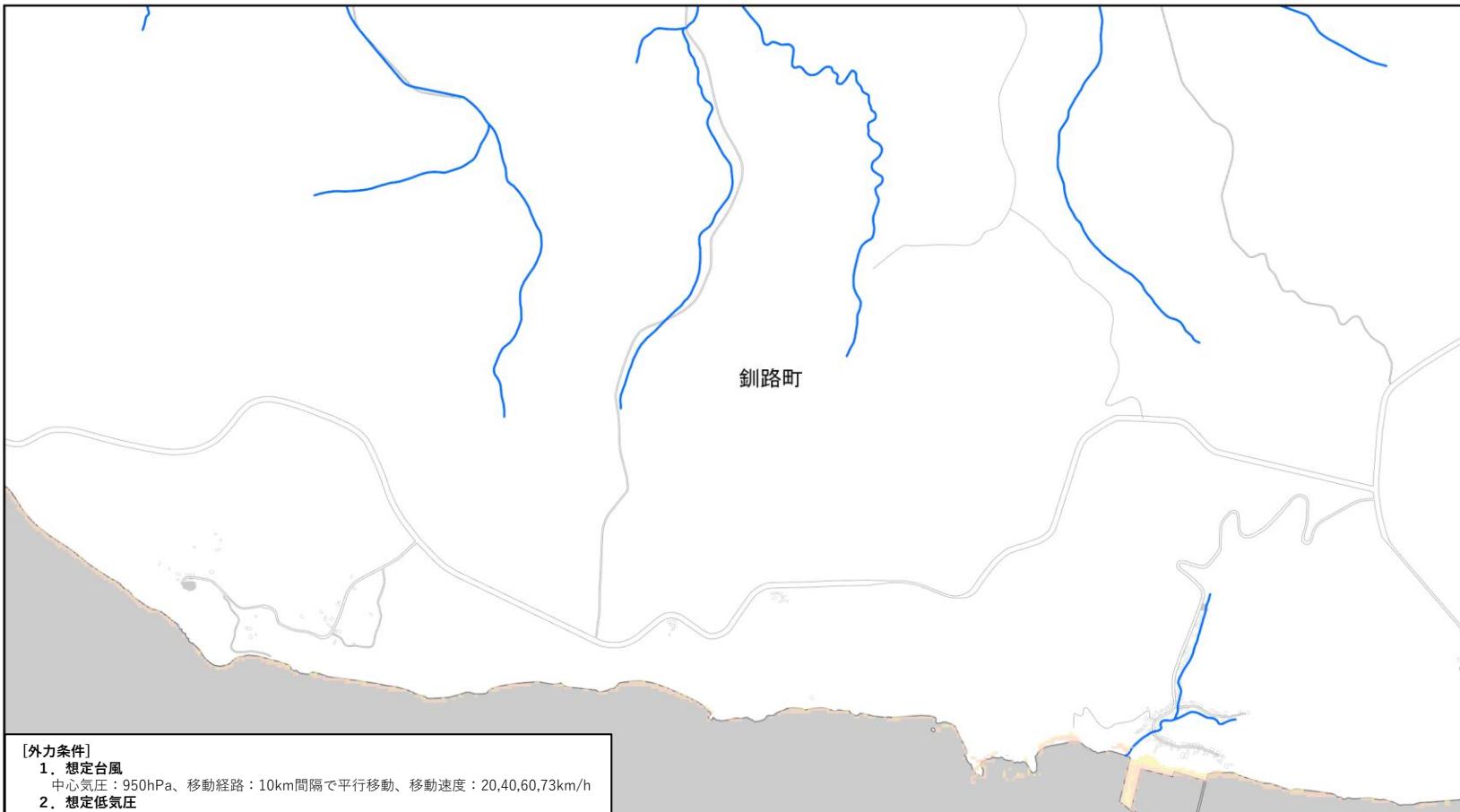
# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【釧路町 2/ 6】



# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【釧路町 2/ 6】



# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【釧路町 3/ 6】



## [外力条件]

### 1. 想定台風

中心気圧 : 950hPa、移動経路 : 10km間隔で平行移動、移動速度 : 20,40,60,73km/h

### 2. 想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動

2006年10月の低気圧を基本に西方向に20km平行移動

### 3. 潮位条件

朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

## [浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。

- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。

- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。

- 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ

- 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

## [留意事項]

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。

- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというもののではない。

- 堤防等の施設は高潮により破壊される(壊れる)ことを想定している。

- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。

- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の週上等により、実際には水位が変化することがある。



## 外力条件の設定

SE-NW-11-E10  
SE-NW-11-E20

Esri, HERE, Germin, (c) OpenStreetMap contributors, and the GIS user community

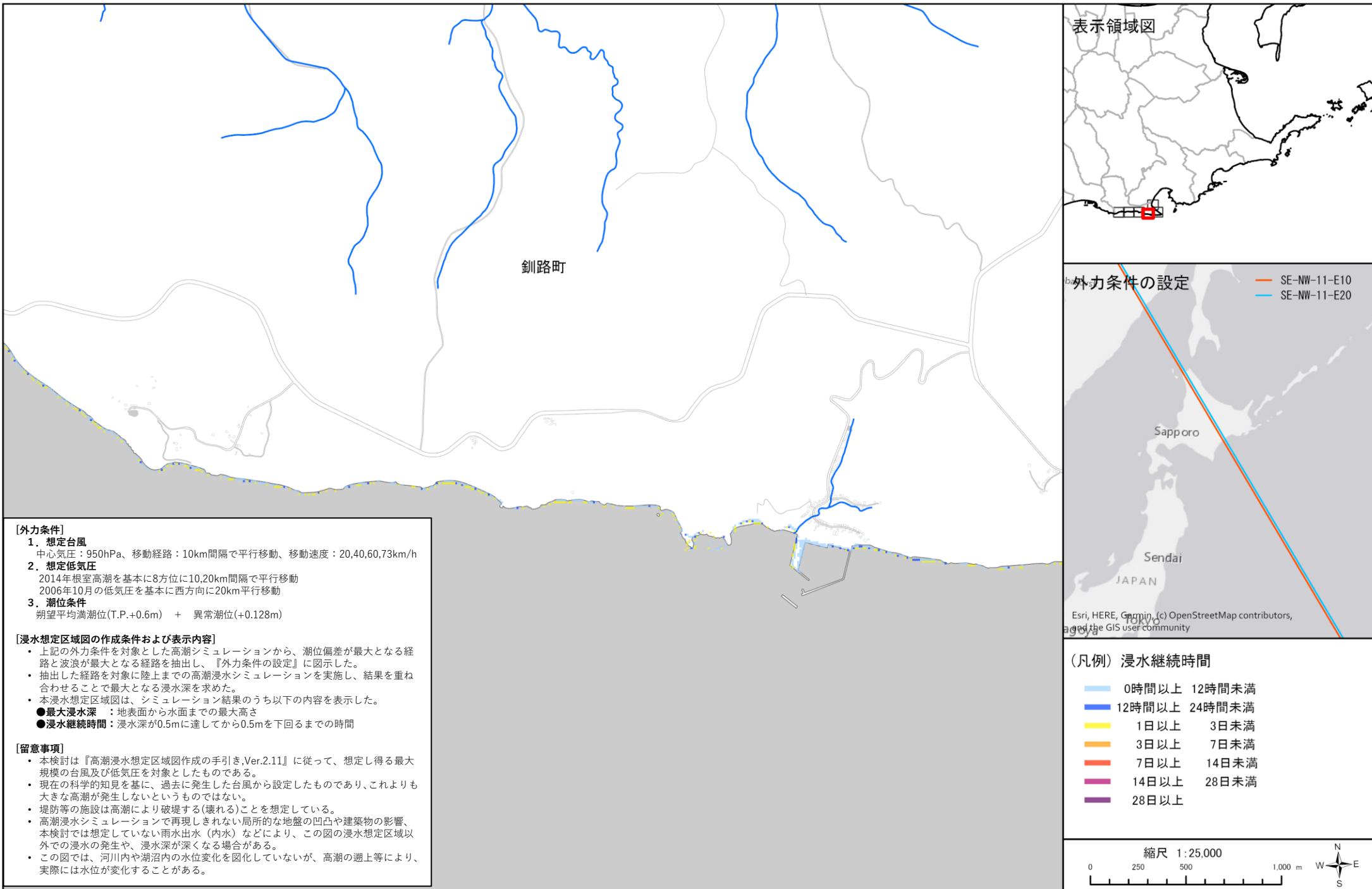
## (凡例) 最大浸水深



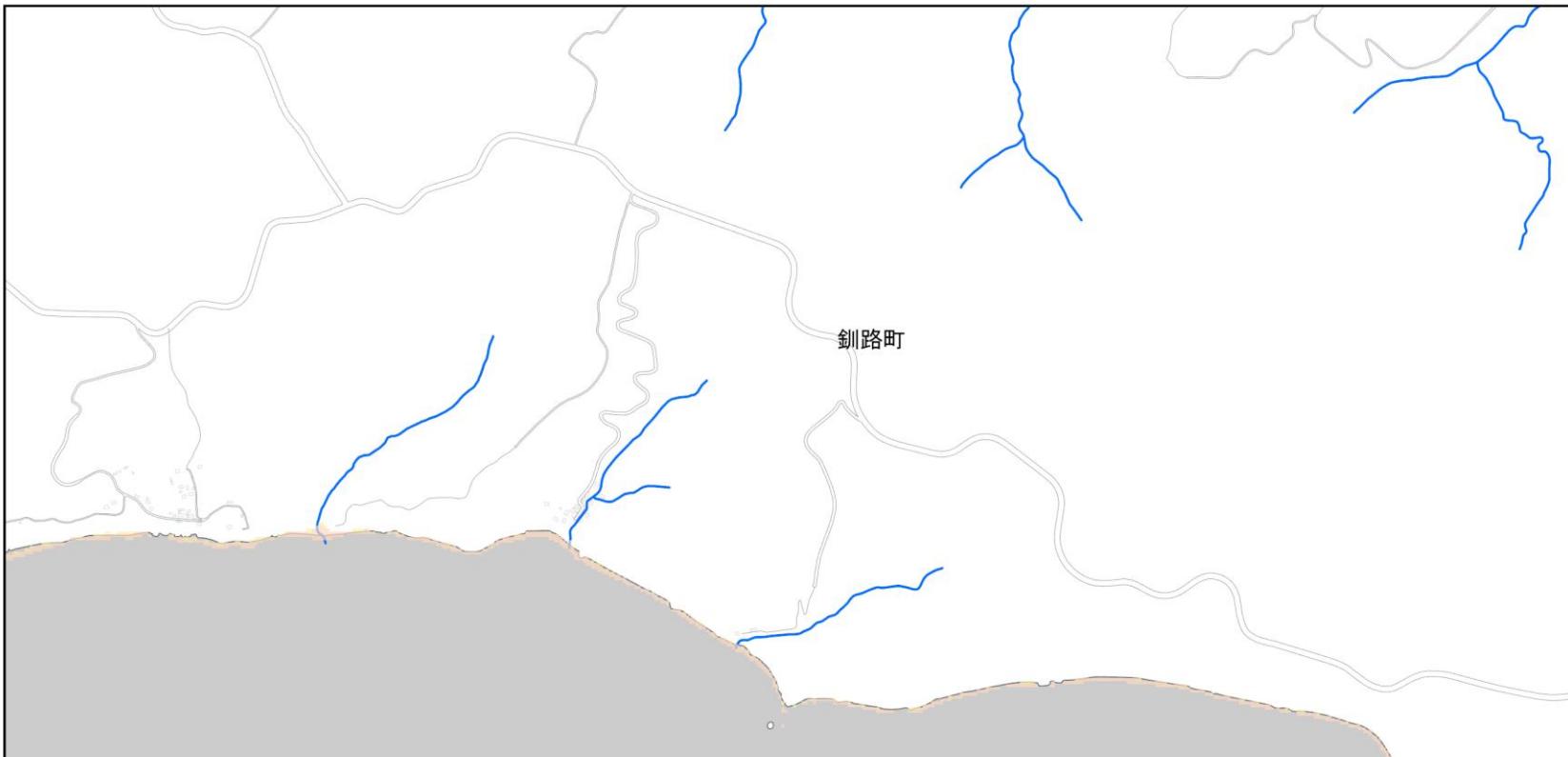
縮尺 1:25,000

0 250 500 1,000 m N W E S

# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【釧路町 3/ 6】



# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【釧路町 4/ 6】



## [外力条件]

### 1. 想定台風

中心気圧 : 950hPa、移動経路 : 10km間隔で平行移動、移動速度 : 20,40,60,73km/h

### 2. 想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2006年10月の低気圧を基本に西方向に20km平行移動

### 3. 潮位条件

朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

## [浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、「外力条件の設定」に図示した。
  - 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
  - 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
- 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ  
●**浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

## [留意事項]

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというもののではない。
- 堤防等の施設は高潮により破壊される(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の週上等により、実際には水位が変化することがある。



## 外力条件の設定

SE-NW-11-E10  
SE-NW-11-E20

Sapporo

Sendai

JAPAN

Esri, HERE, Germin, (c) OpenStreetMap contributors,  
and the GIS user community

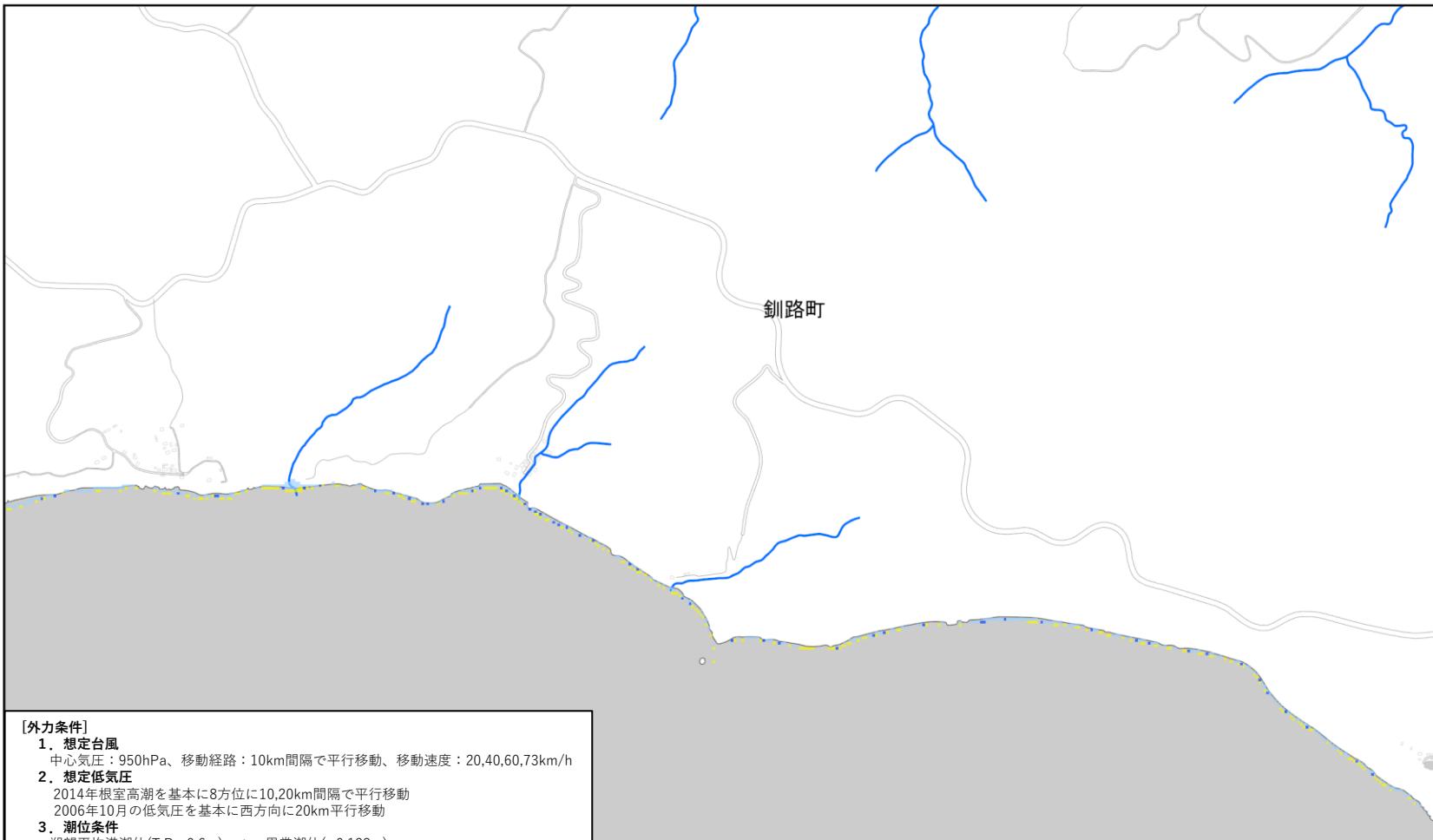
## (凡例) 最大浸水深



縮尺 1:25,000

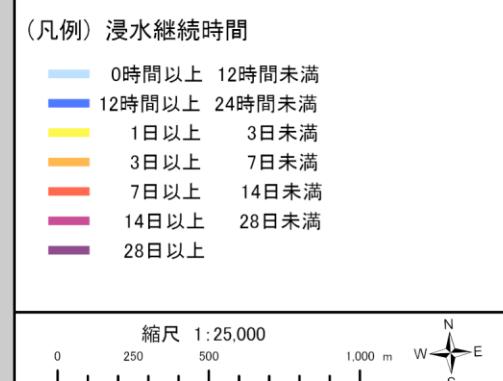
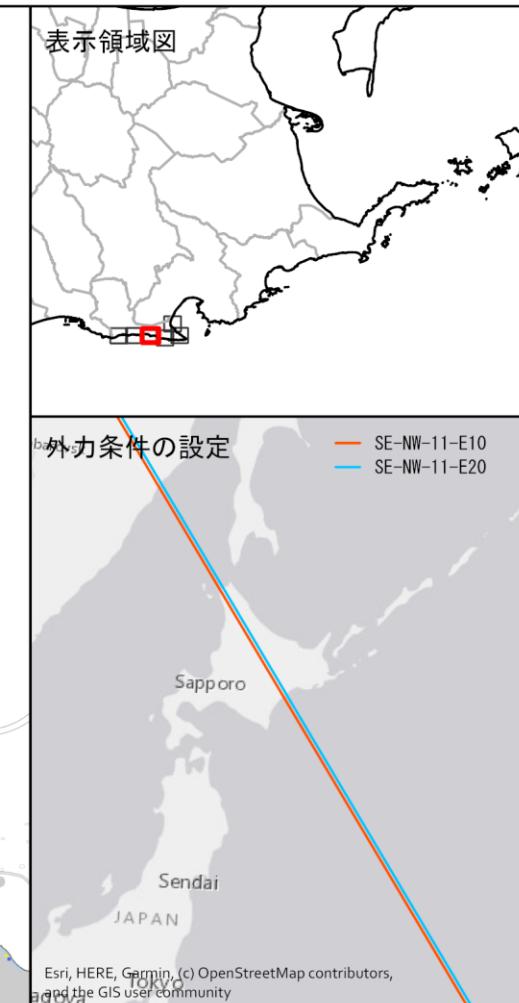
0 250 500 1,000 m N W E S

# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【釧路町 4/ 6】

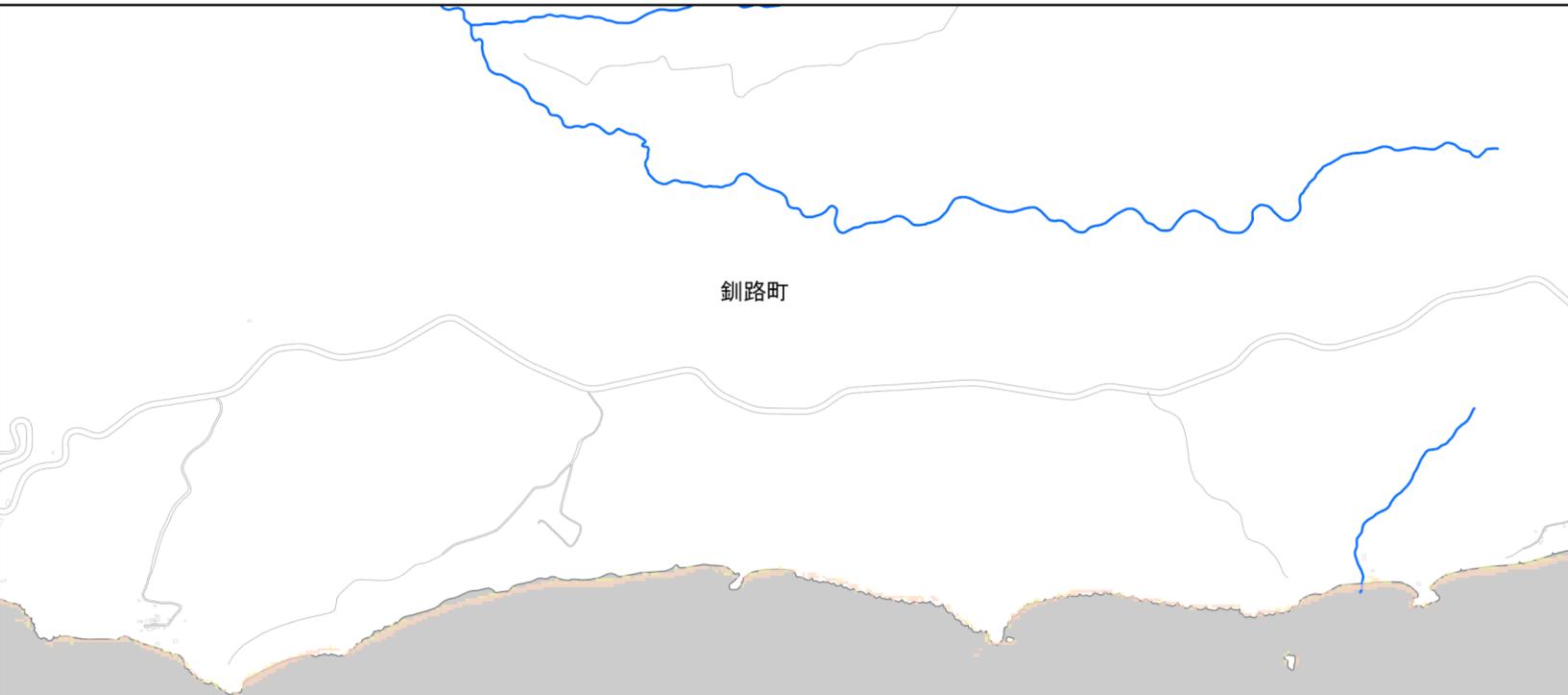


**[留意事項]**

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというもののではない。
- 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の週上等により、実際には水位が変化することがある。



# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【釧路町 5/ 6】



## [外力条件]

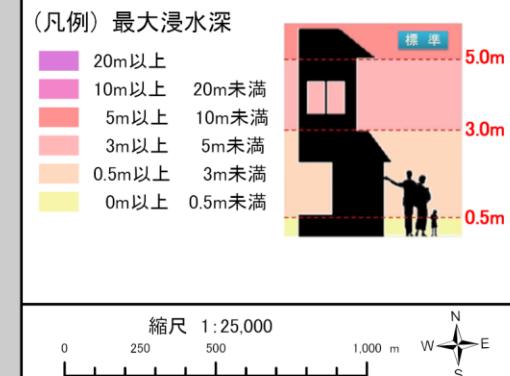
1. 想定台風  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
2. 想定低気圧  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2006年10月の低気圧を基本に西方向に20km平行移動
3. 潮位条件  
朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

## [浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

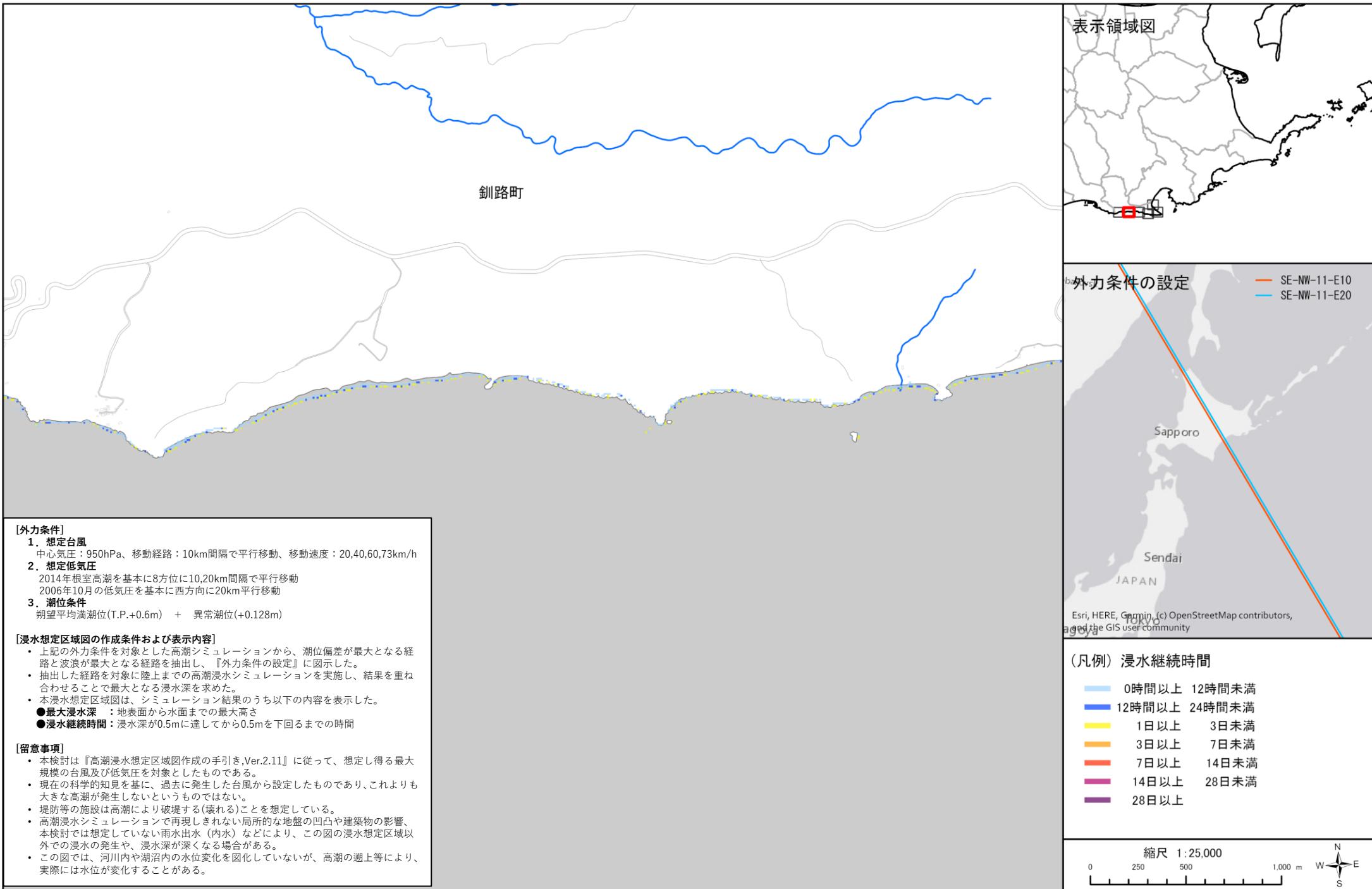
- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、「外力条件の設定」に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

## [留意事項]

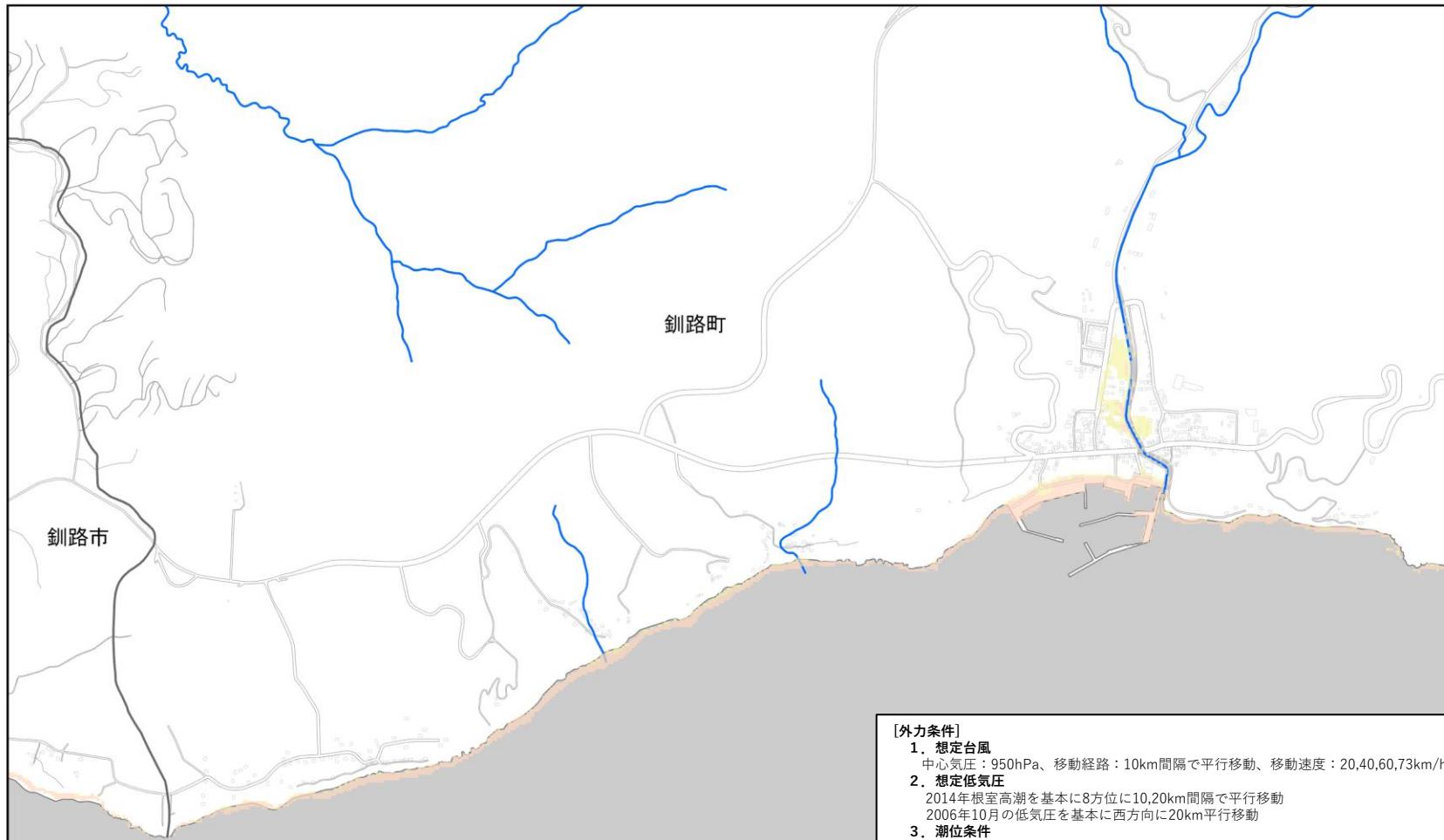
- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというもののではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の週上等により、実際には水位が変化することがある。



# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【釧路町 5/ 6】



# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【釧路町 6/ 6】



## [外力条件]

### 1. 想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h

### 2. 想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動

2006年10月の低気圧を基本に西方向に20km平行移動

### 3. 潮位条件

朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

## [浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

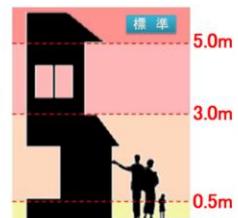
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

## [留意事項]

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引きVer.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的見知りに基づき、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破壊する（壊れる）ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の週上等により、実際には水位が変化することがある。



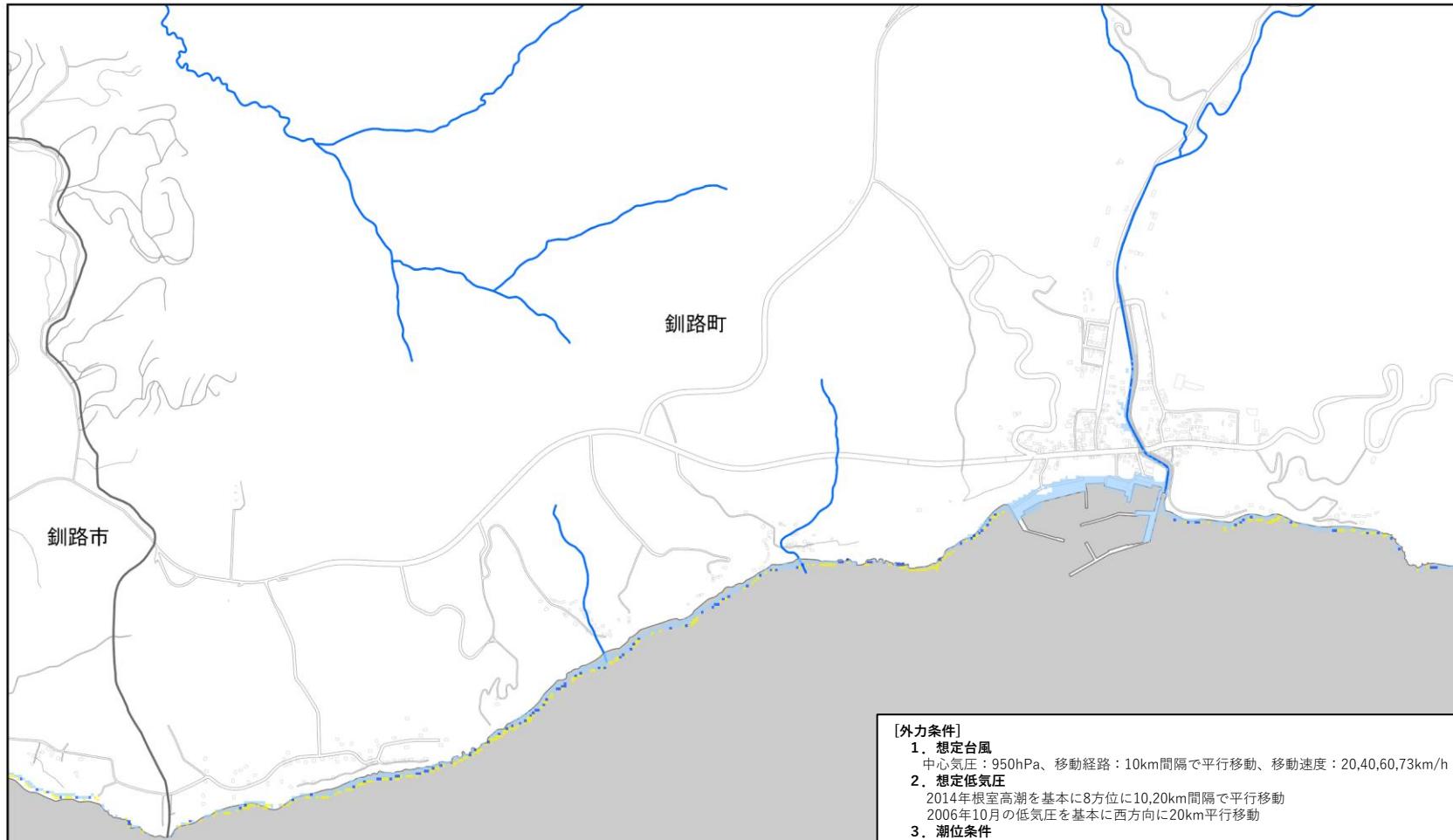
## (凡例) 最大浸水深



縮尺 1:25,000

0 250 500 1,000 m W E N S

# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【釧路町 6/ 6】



## [外力条件]

### 1. 想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h

### 2. 想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動

2006年10月の低気圧を基本に西方向に20km平行移動

### 3. 潮位条件

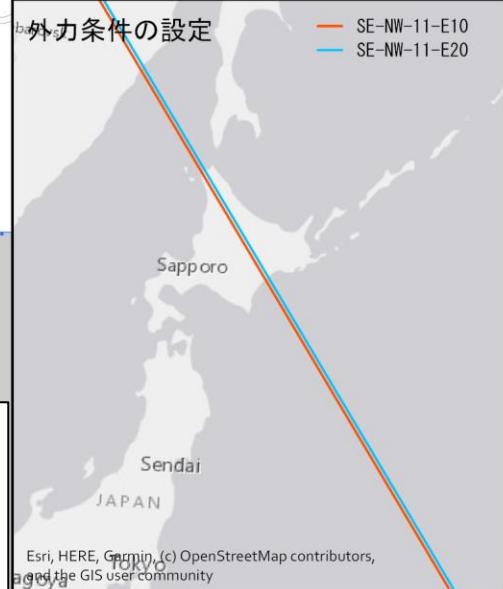
朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

## [浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
  - 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
  - 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
- 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ  
 ●**浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

## [留意事項]

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引きVer.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の週上等により、実際には水位が変化することがある。



## (凡例) 浸水継続時間

0時間以上	12時間未満
12時間以上	24時間未満
1日以上	3日未満
3日以上	7日未満
7日以上	14日未満
14日以上	28日未満
28日以上	

縮尺 1:25,000

0 250 500 1,000 m N E S W